

R1.5. 17 Eコート 第3試合 準決勝戦

	15	—	20			
	17	—	6			
浦和西	71		14	—20	75	正智深谷
			20	—20		
			5	—	9	

第1Q、両チーム共にマンツーマンでスタートする。先手を取ったのは正智深谷。#7のドライブインからのバスケットカウント、#6の3Pシュートで先制する。一方浦和西はシュートチャンスを得るもシュートがことごとくはずれ、得点できない。正智深谷はドライブインが有効に決まり、#7が連続して中に切り込んでからレイアップシュートを決めリードする。浦和西も#7の3Pシュート、ドライブインシュート、#6のジャンプシュートで何とか食らいつく。

第2Q、浦和西のモーションオフenseからのシュートが効きだす。#5、#7のジャンプシュートがきれいに決まり、リズムを作り出す。正智深谷は前半好調であったドライブインができなくなり、外からのシュートが多くなり、得点できずに苦しむ。開始5分、正智深谷はタイムアウトを取るが流れは変わらず、浦和西#5にジャンプシュートを決められ、逆転を許してしまう。その後拮抗した試合展開が続くが、残り2分浦和西はタイムアウト後、ディフェンスを2-1-2ゾーンにしてさらに正智深谷のオフenseを封じ込める。浦和西が最後のオフenseをスクリーンプレーから#7がシュートをしっかり決め、6点リードして前半を終了する。

第3Q、互角の戦いになる。浦和西#4の3Pシュート正智深谷#9の3Pシュートで得点する。正智深谷はオフenseでスクリーンを使い、シュートチャンスを作る。徐々に正智深谷のペースになり、得点を重ねていく。浦和西は#5#8のジャンプシュートで応戦するが正智深谷のオフenseを止めることができない。残り2分、浦和西タイムアウト後、ディフェンスを3-2ゾーンにしてリズムを変えようとするが、正智深谷#4の3Pシュートで46対46の同点となり、勝負の行方は第4Qへ。

第4Q、正智深谷はオールコートでプレッシャーをかけ、インターセプトから#4が連続してレイアップシュートを決めてリードする。正智深谷のペースで試合は進行する。浦和西はタイムアウト後、#8#5がジャンプシュート決めて残り22秒、正智深谷ボールでタイムアウト。#4がドライブインをしかけて、ファールを誘いフリースローを得る。2本とも外すが#5がオフenseリバウンドを取り、ゴールにねじ込んで同点とし延長戦へと突入する。

延長戦、正智深谷#7のレイアップシュート、#4の3Pシュートで得点し先手を取る。浦和西も#7のジャンプシュート、#8のドライブインシュートで応戦するが再び逆転するには至らず試合終了となった。正智深谷が接戦を制し関東大会出場の切符を手にした。